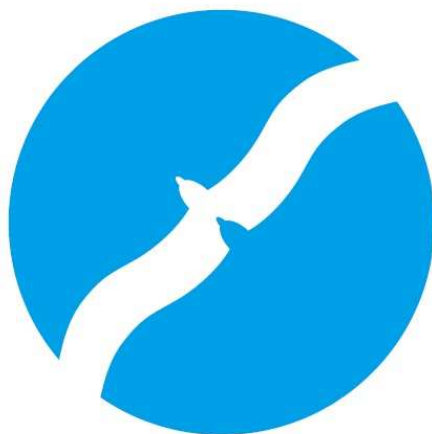


# 2020年2月期 第2四半期 決算説明資料



**TWINBIRD**

2019年10月  
証券コード：6897

- 1. 会社概要**
- 2. 特徴・強み**
- 3. 2020年2月期第2四半期決算**
- 4. 2020年2月期通期業績予想**

# 1. 会社概要

## 会社概要

<b>社名</b>	ツインバード工業 株式会社
<b>創業</b>	1951年
<b>設立</b>	1962年
<b>本店所在地</b>	新潟県燕市
<b>業種</b>	ライフスタイル家電製品等 製造販売
<b>資本金</b>	17億4240万円（2019年 2月期 連結）
<b>売上高</b>	116億円（2019年 2月期 連結）
<b>決算期</b>	2月
<b>従業員数</b>	303名（2019年 2月）
<b>上場市場</b>	東証 二部（証券コード:6897）

## 経営理念と中期ビジョン

### 経営理念 会社が最も大切にしている志

- 1 感動と快適さを提供する商品の開発
- 2 相互信頼を通じた豊かな関係づくり
- 3 快活な職場づくりへの参画と社会の発展への寄与
- 4 自己の成長と豊かな生活の実現

### 中期ビジョン 5年後に目指すべき将来像

家電製品を通じて

お客様の健康と笑顔を創造するために

お客様の声に耳を傾け

「あったらいいなあ」という思いを形にする

働くことが楽しい 誇りの持てる会社

# 拠点・グループ会社

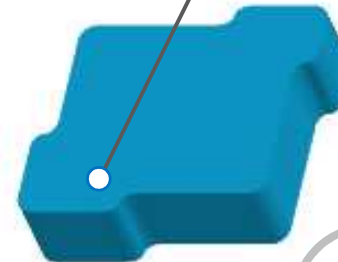
**TSUBAME-SANJO**

新潟本社



**SAPPORO**

札幌出張所



**TOKYO**

東京支社



**FUKUOKA**

福岡営業所



**SHENZHEN**

中国販売 子会社  
双鳥電器（深圳市）



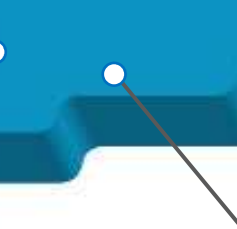
**OSAKA**

大阪支店



**NAGOYA**

名古屋営業所

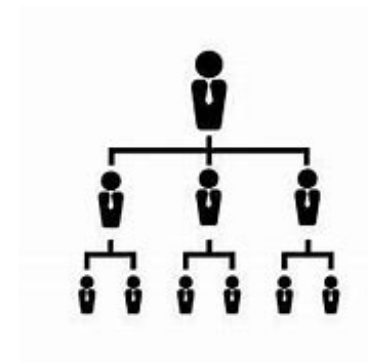


企画販売子会社  
マインツ

**MAINTS**

## 2. 特徴・強み

# ツインバードの強み



**小ロット・多品種  
スピード開発**

いいね！と思ったら  
すぐ製品化

全社員の20%相当が  
企画・開発職

**柔軟性のある  
燕工場製造体制**

開発と製造が連動する  
マザー工場

経験豊富なベテラン  
製造系社員

**モノづくり職人のまち  
燕三条の地域と連携**

地域ネットワークで  
高付加価値創造

燕三条の工業生産金額  
約7000億円

**コンパクトな組織  
ローコスト体質**

大手家電企業に比べて  
コンパクトな組織

ネットワーク型経営による  
ローコストオペレーション  
の実現



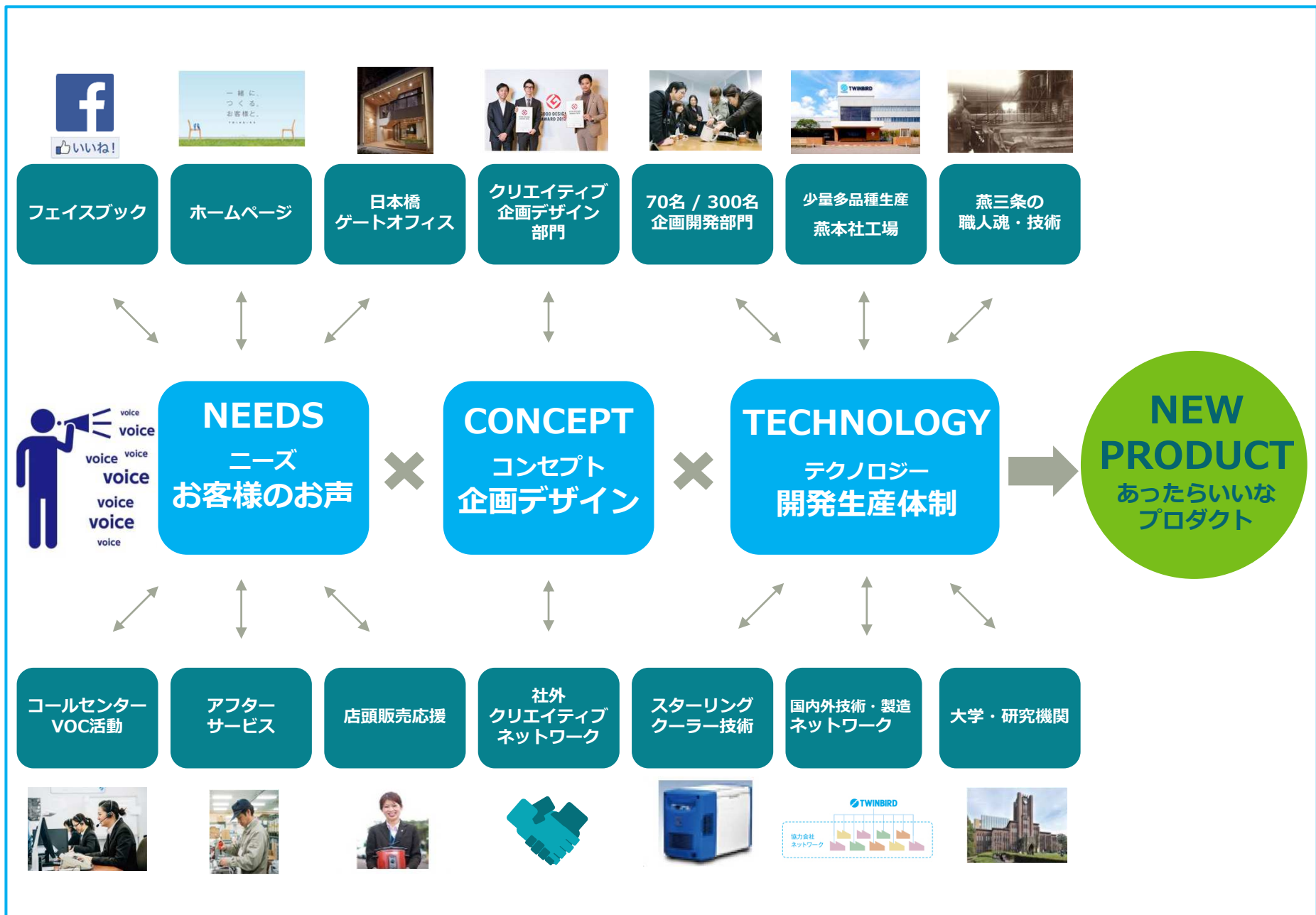
## 地域社会との共存共栄

### 燕三条の経営資源を生かしたモノづくり



本社工場がある新潟県燕三条地域は、世界的に有名な金属加工技術を持つモノづくり職人の町。最新の工業生産金額は約7000億円。ツインバードも創業時は鍍金工場。ツインバードの企画開発力と燕三条地域の素晴らしいパートナー企業と高付加価値製品を世界へ発信します。

# 価値共創企業



## 全自動コーヒーメーカー CM-D465B

コーヒー界のレジェンド田口護氏との挑戦。プロのハンドドリップを完全再現。



“世界一”への  
こだわりが生んだ、  
コーヒーメーカー。

2018年発売した3杯用の「全自動コーヒーメーカー CM-D457B」が大好評の一方、もっと一度に沢山淹れたいというお客様のお声を受け、一度に6杯まで抽出できるコーヒーメーカーが誕生。『カフェ・バツハ』店主 田口護氏 監修のもと、低速臼式フラットミルや独自技術の内向きシャワー式ドリップ、抽出過程を五感で楽しめる構造はそのままに、使う豆の量に適した抽出方法を一から見直し。“ブレのない味”を求めてそれぞれ最適なる過層が形成できる2つの専用ドリッパーを開発。どの杯数設定でもレジェンドが認める安定したクオリティのコーヒーが楽しめます。



## MAINTS 『HOT TRIVET』



# MAINTS

Multi Angle Interface Technologies

薄さ38mmスリムなデザインと360°スマートに操作できるワイヤレスコントローラー。燕三条が誇る磨きの技で洗練された食卓を演出。

多様になっていく人やライフスタイルをさまざまな角度から見つめなおし、人と人との暮らしを快適にする技術の接点（Interface）を目指します。それは、これまでにあったモノであっても、今の時代に必要とされる新しいモノとして、機能・デザインを見つめ直し、新しいライフスタイルを提案する新しい定義を作り出すこと。多くの人の新しい暮らしのための製品を発信していきます。



## GOOD DESIGN AWARD 2019



全自動コーヒーメーカー



ボトル型クリーナー



ハンディースチーマー



2015



LEDデスクライトAired

2016



ワイヤレス耳元スピーカー

2017



コアンダエア

2018



ホットトリベット

プロダクトの新たな価値創造。私たちツインバードの企画デザイナーやエンジニアの活動は、ターゲットユーザーをしっかりと理解した上で、圧倒的にセンスの良い外観デザインのみならず、製品に関わる思想・理念、また、技術開発による新たな機能により、暮らしや社会を豊かにします。15年2製品、16年～18年各1製品でGマークを受賞しました。

# 3. 2020年2月期 第2四半期決算

## 決算ハイライト：増収・黒字化

**売上高:5,864百万円（前年同期比+16.0%）**

- ◆ 家電量販店市場で、単独・少人数世帯向け冷蔵庫・洗濯機、電子レンジ等が好調
- ◆ ポイントサービス市場で、全自動コーヒーメーカーなどが堅調に推移

**営業利益:3百万円（前年同期:営業損失178百万円）**

- ◆ 増収効果により黒字化
- ◆ 物流費用の高騰の影響あり

**四半期純損失:133百万円（前年同期:四半期純損失151百万円）**

- ◆ 投資有価証券評価損110百万円を計上

## 決算概要：営業黒字化を実現

- ◆ 売上高・売上総利益が共に前年同期比2ケタ成長で、営業黒字化
- ◆ 四半期純利益は、投資有価証券の評価損等計上の影響で、赤字を継続

(百万円)	2019/2期2Q	2020/2期2Q		差異	
	実績	計画	実績	前年同期比 (増減率)	計画比 (増減率)
売上高	5,053	5,500	<b>5,864</b>	+810 (16.0%)	+364 (6.6%)
売上総利益	1,269	-	<b>1,536</b>	+266 (21.0%)	-
営業利益	<b>▲178</b>	70	<b>3</b>	+181 (-)	-66 (-95.7%)
経常利益	<b>▲209</b>	20	<b>▲67</b>	+141 (-)	-87 (-)
親会社株主帰属 四半期純利益	<b>▲151</b>	10	<b>▲133</b>	+17 (-)	-143 (-)
売上総利益率	25.1%	-	<b>26.2%</b>	-	-
営業利益率	-	-	<b>0.05%</b>	-	-



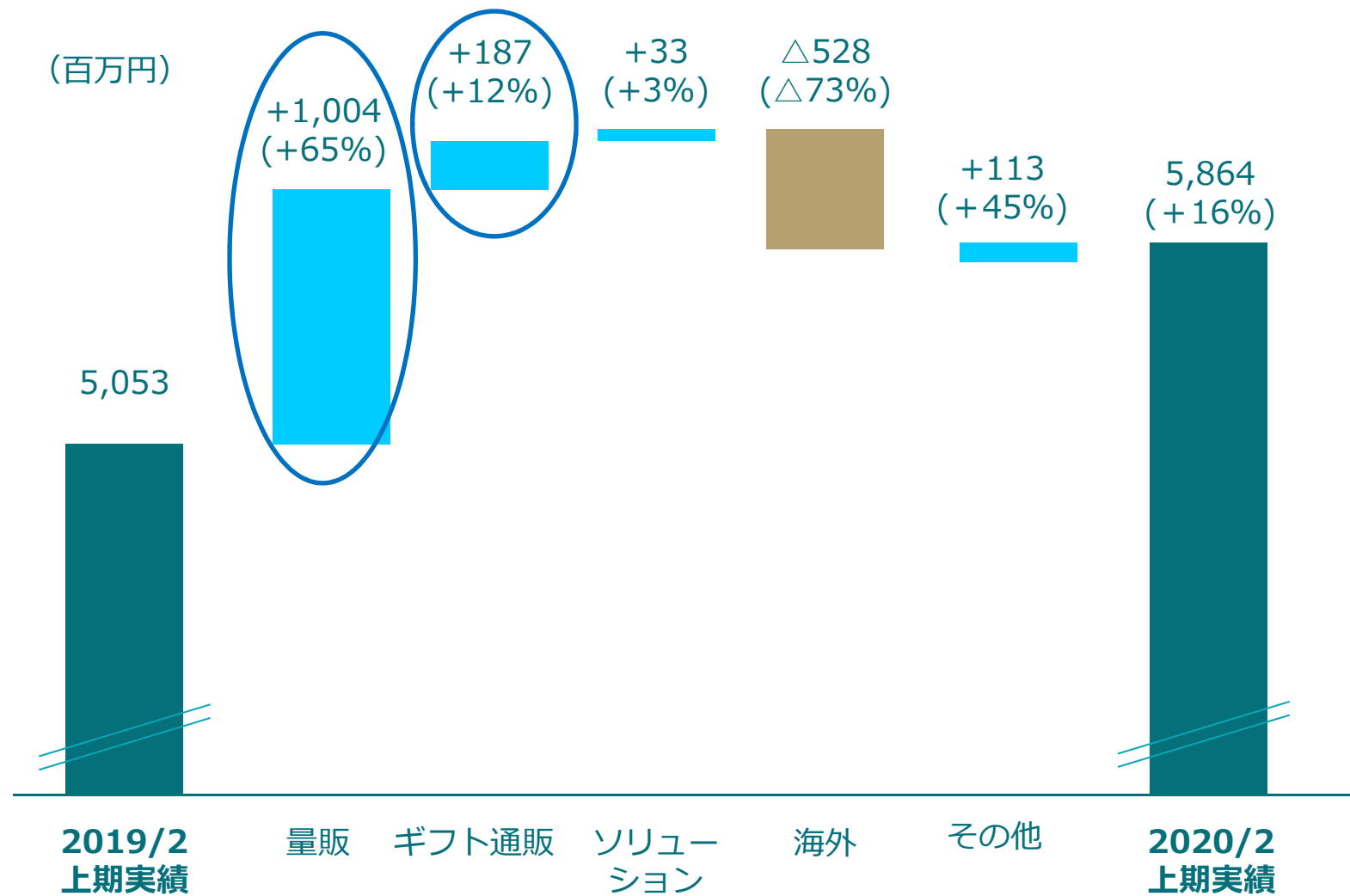
## 回復傾向にある業績：2Qベースでは大きく業績改善

- ◆ 特に当第2四半期は売上高で前年同期比+23%を実現し、営業黒字化



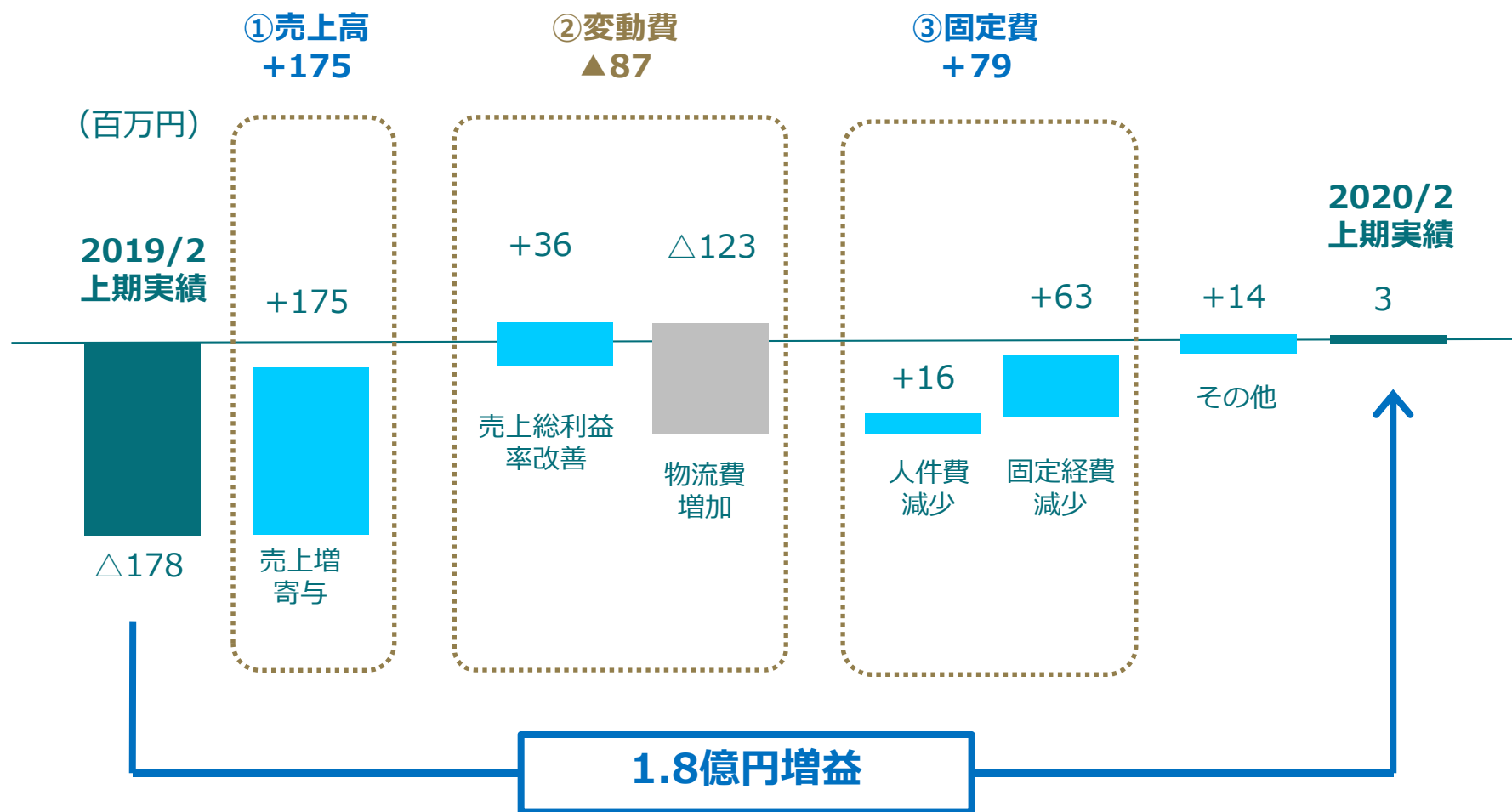
## 上期売上高 前年同期比増減：家電量販店ルートとギフト通販が寄与

- ◆ 家電量販店市場が前年同期比+10億円と大きく増収、ギフト通販も2桁成長
- ◆ 海外事業では、知育教材を中心とするOEMの減少が影響



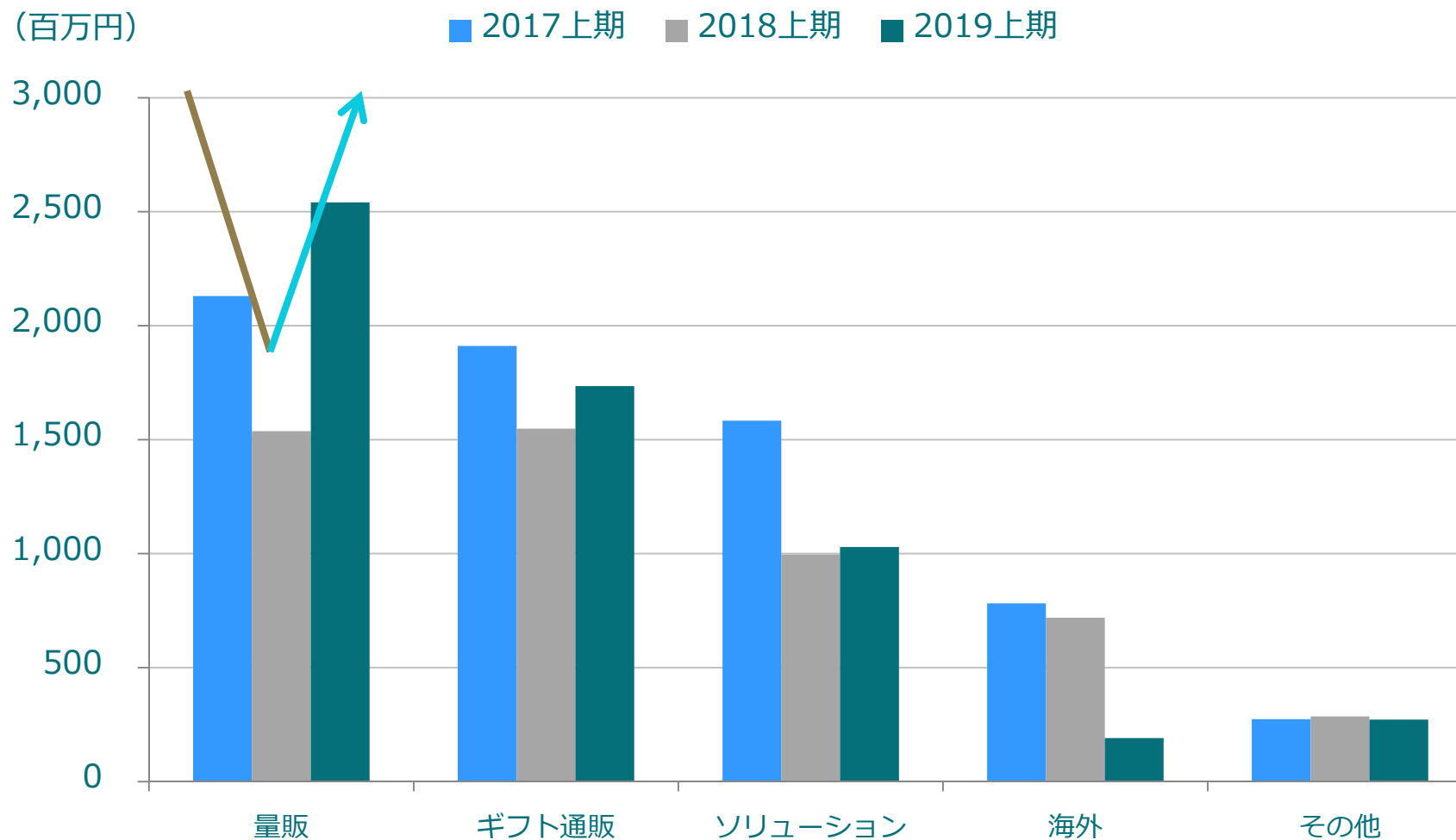
# 上期営業利益 前年同期比増減：増収と固定費減で黒字化実現

- ◆ 営業利益は売上増と固定費の減少が寄与し、前年同期比+1.8億円増益
- ◆ 製造原価抑制したものの物流費増加で変動費増に



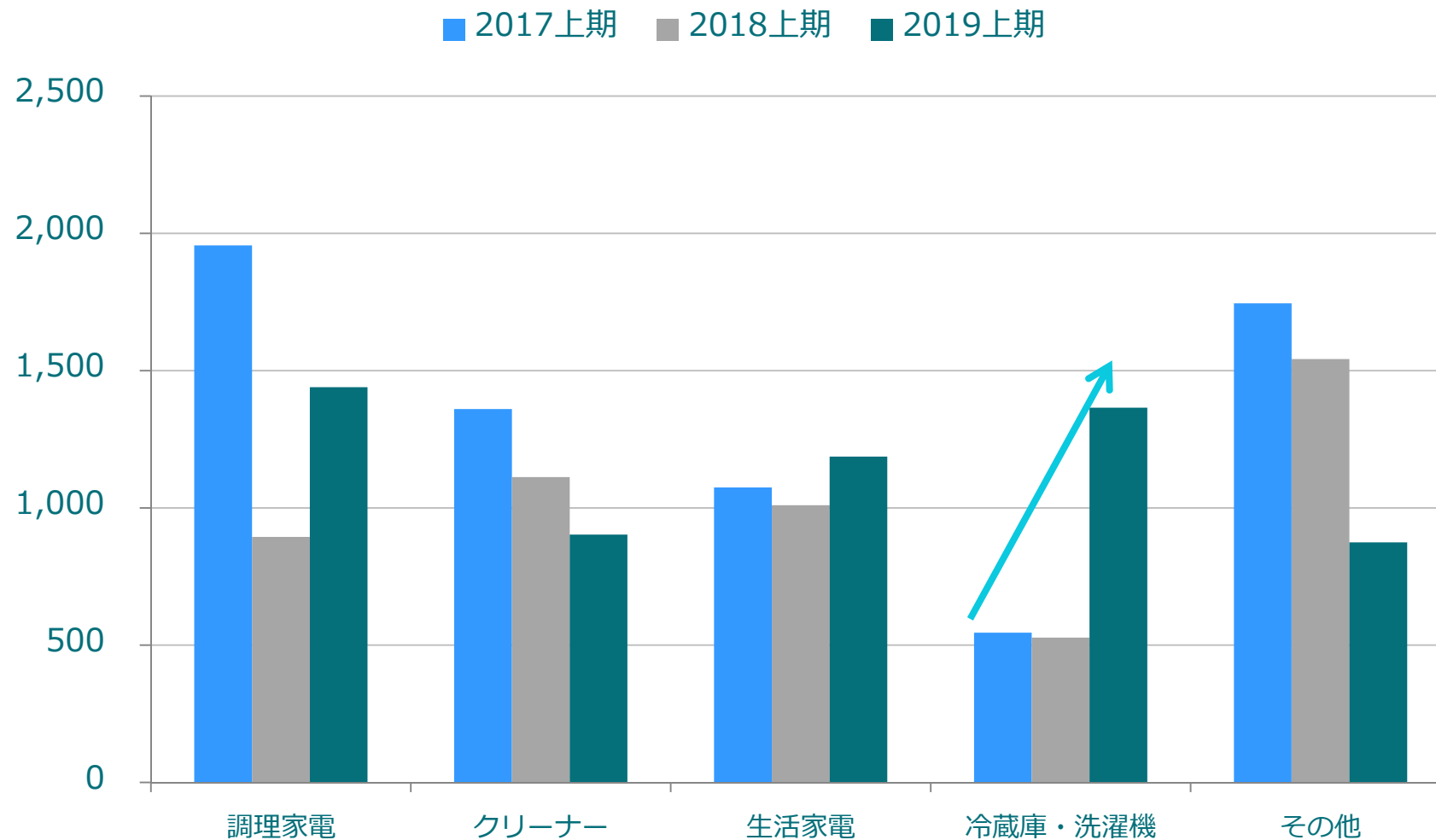
## 販売チャネル別上期売上高：家電量販店市場とギフト市場が増収

◆ 家電量販店市場はV字回復



## 商品ジャンル別売上高：冷蔵庫・洗濯機が順調に拡大

◆ 冷蔵庫・洗濯機が順調に拡大



## 貸借対照表

- ◆ 資産： 売掛債権の回収や棚卸資産の減少による運転資本減少  
新商品開発サイクルの関係で金型等の有形固定資産減少
- ◆ 負債： 長短借入金を2億円返済
- ◆ 純資産： 当期純損失や前期末配当で剰余金が2億円減少

単位：百万円

資産の部				負債の部			
	2019/2末	2019/8末	増減比		2019/2末	2019/8末	増減比
流動資産	7,423	<b>7,167</b>	▲255	流動負債	3,344	<b>3,278</b>	▲66
固定資産	5,098	<b>4,953</b>	▲144	固定負債	2,672	<b>2,572</b>	▲99
有形固定資産	4,057	<b>3,932</b>	▲124	負債合計	6,016	<b>5,850</b>	▲165
無形固定資産	371	<b>337</b>	▲34	<b>純資産の部</b>	2019/2末	<b>2019/8末</b>	
投資その他の資産	668	<b>683</b>	<b>14</b>	株主資本	6,568	<b>6,362</b>	▲205
				その他	▲63	<b>▲91</b>	▲28
				純資産合計	6,504	<b>6,270</b>	▲233
資産合計	12,521	<b>12,121</b>	▲399	負債・純資産合計	12,521	<b>12,121</b>	▲399

## キャッシュ・フロー計算書

- ◆ 営業キャッシュ・フロー： 利益改善と運転資本改善
- ◆ 投資キャッシュ・フロー： 開発サイクルの関係で金型投資等が減少

単位：百万円

	2019/2 上期	2020/2 上期	増減
税金等調整前四半期純損益	(206)	<b>(180)</b>	+25
減価償却費	232	<b>235</b>	+2
投資有価証券評価損	0	<b>110</b>	+110
運転資本等の増減	467	<b>579</b>	+111
その他	5	<b>41</b>	+35
営業活動によるキャッシュフロー	500	<b>786</b>	+285
投資活動によるキャッシュフロー	(255)	<b>(86)</b>	+168
有利子負債等の増減	(289)	<b>(306)</b>	△16
配当金の支払い額	(64)	<b>(71)</b>	△7
財務活動によるキャッシュフロー	(354)	<b>(378)</b>	△24
現金及び現金同等物の増減	△89	<b>319</b>	408

# 4. 2020年2月期 通期業績予想



## 2020年2月期 通期業績予想

### ◆ 売上・営業利益期初業績予想（4月15日発表）に変更なし

- 家電量販は、冷蔵庫・全自動コーヒーマーカーの新製品が通期に渡り売上に貢献し、引き続き増収見込み
- ポイントサービス市場や家電レンタル事業への市場開拓により売上増加へ
- ソリューションは、下期から既存のOEM先からの受注が回復見込み

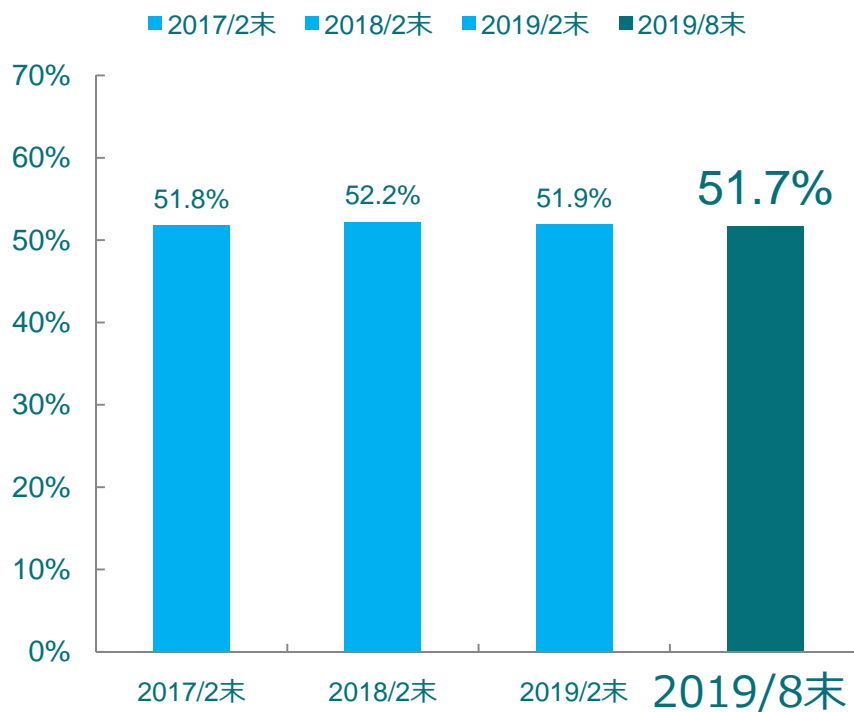
(百万円)	2019/2期 実績	2020/2期 計画	前期比	
			増減額	増減率
売上高	11,625	<b>13,500</b>	1,875	16.1%
営業利益	113	<b>500</b>	386	339.9%
営業利益率	1.0%	<b>3.7%</b>	-	-
経常利益	57	<b>350</b>	292	513.5%
親会社株主帰属 当期純利益	18	<b>100*</b>	81	427.9%

\* 2Qで投資有価証券評価損計上で200⇒100 に修正

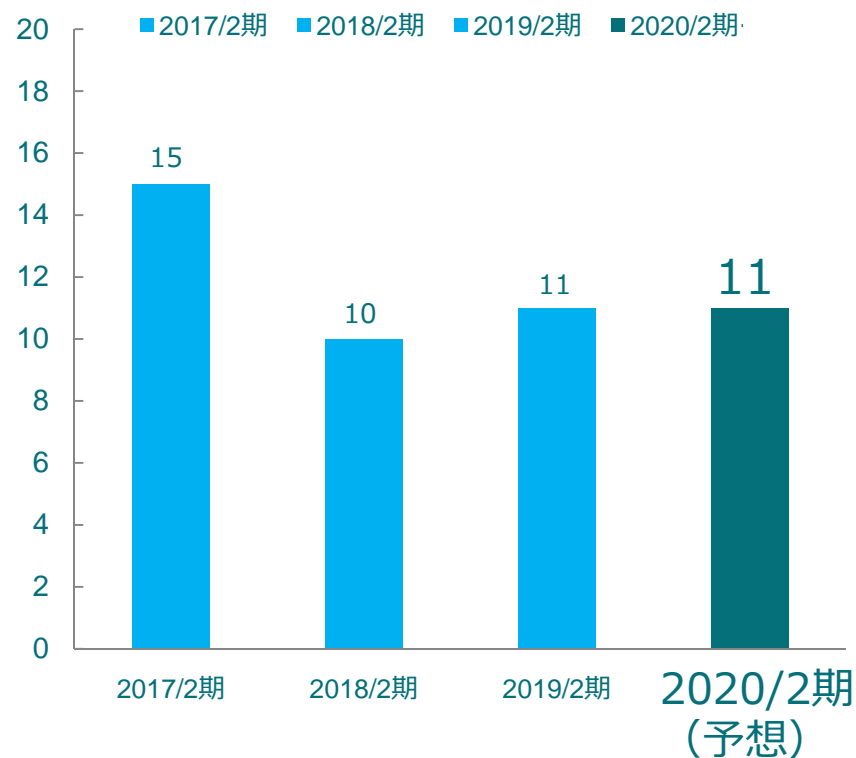
## 自己資本比率、配当方針など

- ◆ 自己資本比率： 約52%で、ほぼ横ばい
- ◆ 配当方針： 安定配当
- ◆ 配当金： 2020年2月期は11円を予想

### 自己資本比率



### 1株当たり年間配当金





### IRに関するお問い合わせ先

ツインバード工業株式会社 経営企画本部 本部長 小林 和則 (TEL : 0256-92-6111)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する予測は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢および、当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、実際の業績等は様々な要因により変更される可能性があります。当社は新しい情報、将来の出来事に基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。